

福生三中だより

令和8年7月17日発行 No.3

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

体力向上

校長 増木 一 仁

6月の学校だよりの発行が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

5月23日に開催した第53回体育祭では、多くのご来賓、保護者、地域の皆様にご来場いただき、温かいご声援を賜りました。心より感謝申し上げます。

今回の体育祭に向けて、生徒たちには次のような話をしてきました。「勝利を目指して一人一人が努力することはもちろん大切です。しかし、それ以上に、みんなが『やってよかった』と思える体育祭にしてほしいと思います。運動が得意な人もいれば苦手な人もいます。得意な人は自分自身をさらに高めるとともに、苦手な人を励ましながらか一緒に頑張ってもらいたい。苦手な人も、自分のできることに精一杯取り組んでほしい。互いに励まし合い、支え合いながら取り組む体育祭にしてほしいと思います。」体育祭後のアンケートでは、「これまで協力してきた成果を発揮できてうれしかった」「みんなで声を掛け合いながら一致団結して頑張れた」「みんなで泣いて笑い合えた」など、多くの感想が寄せられました。生徒たちが仲間と協力することの大切さや達成感を実感できたことを大変うれしく思います。

また、今年度は各学年で全員リレーを実施し、午後競技を行いました。そのため、練習期間を含めて走る機会が増え、これまで以上に体力が求められる体育祭となりました。本校では今年度、「体力向上」を重点目標の一つとして掲げています。人生100年時代と言われる今、健康で充実した生活を送るためには、仕事や学習の基盤となる体力が欠かせません。その意味でも、生徒たちが仲間とともに体を動かし、自らの限界に挑戦した今回の体育祭は、大変意義深いものだったと考えています。今後も夏休みや2学期、3学期を通して、生徒の体力向上に継続して取り組んでまいります。

また6月には「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」を実施しました。本校の「学校いじめ防止対策基本方針」では以下のように定めてあります。（全文は学校HPに掲載）

2 いじめの防止についての基本的な考え方

いじめは人間として絶対に許されない、人権に関わる重大な問題である。生徒は、学校という小さな社会の中で様々な人と接する。つまり、どの生徒も被害者にも加害者にもなりうる可能性があり、教職員が日頃から些細な予兆を見逃さないように努め、学校全体で組織的に対応していく。また、学校は生徒が友人や教職員との信頼関係の中で、安心して安全に生活できる場になるよう、思いやりやいたわりをもった集団が形成され、仲間と共に人間的に成長できる学校づくりを進める。

体力向上と同様に、互いを思いやり、認め合い、支え合うことは、学校生活を充実させるために欠かせないものです。これからも、生徒一人一人が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに努めてまいります。

今後も保護者や地域の皆様と力を合わせ、誰もが安全で安心して過ごせる学校づくりを進めてまいります。お子様のことで気になる様子などがございましたら、いつでも学校までご相談ください。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。（裏面割愛）